

対リビア事業展開計画

2021年 4月 現在

基本方針 (大目標)	紛争後の社会安定化に向けた経済・産業開発およびガバナンス支援
---------------	--------------------------------

重点分野 1 (中目標)	経済・産業開発と人材育成支援												
開発課題 1-1 (小目標) 紛争後の経済・産業開発支援	【現状と課題】 2011年の政権崩壊、2014年以降の東西対立、2019～2020年のトリポリ周辺での戦闘により、国内の経済インフラは破壊され復興は進んでいない。また、世界第10位の石油埋蔵量を誇る一方で経済・財政は石油・天然ガス輸出に大きく依存し、労働人口の大部分が公共セクターに勤務している。このため、経済インフラ復旧、脱石油依存、開発の遅れる地域の経済開発、民間セクター振興、人材育成と雇用創出（特に若年層）が課題となる。					【開発課題への対応方針】 これまでは紛争により生じた人道問題に対応するための緊急援助に主眼が置かれてきたが、停戦合意の署名（2020年10月）や選挙を含む政治プロセスの進展を踏まえて、人材育成と経済・産業開発に係る支援に集中して取り組む。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	経済・産業開発・人材育成プログラム	紛争後の社会安定化、脱石油依存、地域開発を目的とし、経済産業分野の人材育成に集中して取り組む。	経済・産業開発政策 アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ) 「修士課程およびインターンシップ」プログラム	国別研修	■								8,9,10,16
			国別研修	■	■	■	■					8,10	
重点分野 2 (中目標)	ガバナンス支援												
開発課題 2-1 (小目標) 紛争後のガバナンス支援	【現状と課題】 2011年の政権崩壊、2014年以降の東西対立、2019～2020年のトリポリ周辺での戦闘により、国内の行政機構及び社会基盤は破壊され復興は進んでいない。選挙の実施やその後の政治安定化の実現のため、行政・司法機関の能力構築、地方分権の促進等が課題となる。					【開発課題への対応方針】 政治プロセスの進展と中央・地方政府における能力構築ニーズの高まりを踏まえて、行政人材育成や制度構築といったガバナンス支援に集中して取り組む。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度			
	ガバナンス支援プログラム	紛争後の政府機能回復、行政サービス向上を通じた社会安定化を目的とし、中央・地方政府の能力向上に取り組む。	ガバナンス分野の課題別研修	課題別研修他		■							10,16

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実線「——」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間） ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf